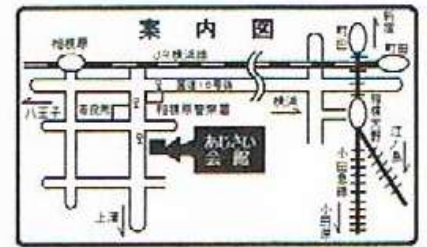




てにてを



発行：相模原災害ボランティアネットワーク ホームページ：www.sagami-portal.com/hp/dnt101144
 連絡所：相模原市中央区富士見6丁目1番20号 相模原市社会福祉協議会中央ボランティアセンター
 TEL：042(786)6181 FAX：042(786)6182

平成の時代を顧りみて

代表 中村 吉和

平成の時代も終えようとする時に、再度代表を仰せつかりました。微力ですが、宜しくお願い致します。

平成の時代を顧りみますと、我が相模原災害ボランティアネットワークも平成7年に突然発災した阪神淡路大地震の教訓を機に、研鑽し平成9年に発足しました。最早22年が経ち、世の中にボランティアという文言はありましたが、地域住民が助け合うところからのお手伝いと位置づくものでした。災害ボランティアの語源は、平成に入ってからで、度々発災する地震、又は地震による津波。更には火山の爆発等が世の中を脅か



す。「天災」記憶に残るのは、新聞、テレビ等での悲惨な映像ではないでしょうか。又、近年交通事故による、「人災」これは高齢者が加担するものが非常に増えている現状。

我がネットの会員も高齢化となり、担い手に苦慮をしているところであります。ネットの会員を随時募集しておりますので、趣旨に賛同して下さる方は、男女を問わず加入を宜しくお願い致します。

今後の「令和」時代が、安心・安全・安穏な世の中を願い、私の挨拶と致します。

2019年度の初めての行事：若葉祭り

2019年5月11,12日若葉祭りが盛大に市役所さくら通りにて開催されました。市民の手づくりによる催し物や活動団体の模擬店、各県の名産の販売、市民パレード、絵画コンテスト、芸能の発表など盛りだくさんの内容でした。例年と同じうどんとコーヒーを販売しましたが、快晴で気温も高くアイスコーヒーや冷やしうどんはないの？と聞かれるほど夏のように暑い天気で暖かい物は売れませんでした。参加会員は25名、ひよこ保育園が17名の参加、協力をいただきありがとうございました。開催時期によるメニューの検討し、次回の参考にしたい。(倉島 勝治 記)



ご協力いただいた皆様



会員スキルアップ研修会

2018年度の会員研修会のテーマを、相模原市地域防災計画の中に組み込まれた「地区防災計画」を取り上げ実施した。

地区防災計画は、市域22各地区の地区特性に基づき地区が防災計画を作成したもので、災害発生時の初動は地区防災計画に沿った活動を実施して行くことになる。SSVNの会員も地区の住民として「地区防災計画」を知って頂き、今後の地区防災訓練が行われる時は参加して頂きたい。

地区防災計画は、「総則、予防計画編、応急対策編、資料編」の構成になっているが、どの地区にも「資料編」が草稿されていない未完のものであるが、今後防災訓練を実施し不足分や改正を行なわれ補完されるものと思う。



地区防災計画の特徴は、「地区コミュニティ主体のボトムアップ型」の計画で「地区の特性に応じた計画」・「継続的に地区防災力を向上させる計画」となっている。

大規模災害が発生した時は、地区住民が「公助」の限界を認め「自助・共助」を基に、「予防計画」を行い発生時には「応急救助」活動を行うことになっている。そのために各区地区には単位自主防災を核とした地区連合自主防災が組織されていて防災訓練等の計画と訓練を行っている。

地区住民が自ら作成した計画に基づく活動は、大規模災害発生時には被災者の救助に大きく寄与される事を願うものである。

大石 努

中学校出前講座

後期の中学校の福祉体験実施校は、内出中学校、小山中学校、上鶴間中学校の3校であった。内出中学校と上鶴間中学校は初めての災害ボランティア体験講座を行った。

掲載写真は小山中学校と上鶴間中学校で内出中学校は撮影の準備が無く記録に取れなかった。

講座内容は、防災ビデオを15分鑑賞後写真の様に晴天の時はグラウンドでブルーシートを利用したテント設営



訓練を行う。内出中学校と小山中学校は天候に

恵まれてテント設営訓練を行う。

上鶴間中学校は前日の雨でグラウンドが使用できず室内で三角巾の使い方の訓練を行う。

講座終了前に、事前学習の教材を基に作成したアンケートの答え合わせを行って講座を終了する。講座の時間は90分と短いため災害



の学習内容の構成は難しく教材と災害現場のビデオ映像で被害の現状は幾分か

ると思う。

大石 努

11日7時に倉庫前に集合し機材をリヤカーに積み込み3人で出発、途中リヤカーにトラブル発生し荷の積み直しをしながら現地に到着、現地集合の参加者と準備を行い開会式に間に合った。

天候に恵まれ農業祭りやこども広場の行事もあって人出も多かったが前半は農業祭りが賑わい後半になって来客が多くなり急がしなって来たが今回もひよこ保育園の先生方に大勢参加協力いただき賑やかに楽しい活動が出来た。

さがみはら市民活動フェスタ2018に参加して



午後3時に終了し後片付けし、リヤカーに積み込み、行きも

帰りも怖い帰路になった。機材は、発電機、テント2張り、綿菓子機、テーブル4セット、小物機材等をリヤカーに積む量は重量オーバーだったと思う。

タイヤの空気圧の点検をしなかったのも一因と思うが片道約2Kmの距離を機材搬送するのは無理と思う。

大石 努

双葉小学校区自主防災訓練に参加して

双葉小学校を避難所に指定する 7 自治会の合同自主防災訓練は、今回で 19 回目となる。訓練開始初期から防災意識啓発に主眼を置いた体験型のメニューで 700 名から 800 名の参加による訓練を実施してきたが、近年はより実践的な訓練とするため、各自主防災隊本部の立ち上げや情報伝達訓練等の組織的な対応訓練に切り替えてきた。しかし、組織対応訓練の弱点は、専門的な訓練となることから、一般会員の防災意識啓発訓練が薄くなることにある。今回は、これまでの熟考から、たくさんの会員や関係機関の参加による啓発訓練を実施し、地域のさらなる防災対応力の向上を目指した。

今回の訓練の参加者は、約 500 名。双葉小学校を会場に、情報連絡訓練、避難誘導訓練などの各自主防対応訓練と、初期消火・救出救助・給水備蓄・給食・要援護者支援・生活支援（ネット担当）などの訓練に加え、体育館では、避難所体験や防災用品の展示（ネット担当）、防災ワークショップを開催。—昨年南消防本署に配備された新型のはしご車のデモンストレーションや、自主防災組織の訓練では初めてとなる陸上自衛隊座間駐屯地の第 4 施設群の参加協力を得た。第 4 施設群は、仮設橋の設置や重機を装備した災害対応可能な部隊のため、要救助者の救出用資機材や車両の展示と説明を担当した。2019 年度は、訓練 20 周年となることから記念イベントも企画している。

（大槻和弘 記）



双葉小学校区自主防災訓練



ひよこ第 2 保育園 防災研修会

災害ボランティアコーディネーター養成講座

2018 年 11 月 17 日（土）、18 日（日）の 2 日間、中央区会場にて災害ボランティアコーディネーター養成講座が開催されました。今回は 6 名の応募者があり、皆様災害ボランティア経験者が多数を占めていましたが、大石講師の養成講座の災害ボランティアコーディネーターは専門ボランティアにしようとの熱意からすると、少し寂しい受講者数に思いました。1 日目は相模原市に想定される地震について、地域防災計画も含めてボランティアセンターの役割について学び、2 日目は実際に想定されるニーズ対応についての熱心な実習が行われました。その結果、講習修了証授与式当日 SSV 入会申込 1 名、後日入会予定 4 名となりました。次回は 6 月 15 日、16 日南区会場です。（小野寺 弘記）



ロープワーク・ブルーシートテント立て防災研修を実施 ひよこ保育園

2018 年の 9 月 13・20 日に行いました。内容はロープワークとして巻き結びと自在結び等、保育で実践しやすい結び方を教わった事で園庭遊びや園外保育で取り入れる事が出来ました。また、ブルーシートテントでは身近にあるもので作る事が出来た為、災害時や夏場の園外保育先で休憩場所としての設営を検討しています。今回の研修では事前に研修の資料を頂いた事により職員にも内容が理解した上で研修に取り組む事が出来ました。研修内容は講演ではなく実践的な内容で良かったです。また、お忙しい中昼の時間帯に行って頂いた事により全ての職員が研修を受講する事が出来た為、今後研修を依頼する際は昼の時間をお願いしたいと思っております。今回は短い時間でありましたが充実した研修をありがとうございました。今後、何かあればまたご相談をするかと思っておりますのでその際はよろしく申し上げます。（ひよこ第 2 保育園研修係 加藤・南・柿島 記）

相模原市消防出初め式

今年の出初め式は暖かい天候に恵まれて観覧者が多かった。10時から式典が始まり来賓の祝辞、永年勤続表彰等の式進行後、参加消防団の消火活動、梯子乗りの演技など前年にはなかった催しもあった。球場内の催し終了後銀河アリーナ前に整列した消防車の行進に移り12時終了した。 大石 努



防災力アップ講座（市社協主催SSV共催）

防災とボランティア週間に絡めて平成31年1月29日（火）「防災力アップ講座」を開催しました。第1部は、市社協職員による7月豪雨災害・災害ボランティアセンターへの派遣報告。市社協から広島県尾道市社協に10名、坂町社協に8名の応援職員を派遣したことから、現地の状況報告や災害VCで採用されていたコミュニティマッチングについて、より顔が見えやすい自治会等の単位でニーズ把握やコーディネートを担当する場合があること等についても触れました。第2部はNPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長の李仁鉄さんを講師に、災害時に必要なニーズはもともとの支え合いの力を超える量となるため災害ボランティアセンターの機能が必要となることや、ボランティアは「派遣」ではなく「紹介」であるため、活動場所や活動範囲にとらわれず様々な課題に対応できる存在である等、被災地支援の基本についてお話をいただきました。



た。会場からは多くの質問も出て、グループワークの時間が足りなくなるほどの熱気でした。47名の方が様々な立場から参加されており、関心の高いテーマだという事を再認識しました。（市社協 三田 記）

2018年度後期行事（10月1日～翌3月31日）

- * 会員スキルアップ研修会：10月6日
- * 大野北中学校出前講座：10月25日
- * 内出中学校出前講座：10月26日
- * 双葉小学校区自主防災訓練：10月28日
- * 市民活動サポートセンターフェスタ2018
- * 災害ボランティアコーディネータ養成講座
11月17日・18日（中央ボランティアセンター）
- * 小山中学校出前講座：11月28日
- * 上鶴間中学校出前講座：12月12日
- * 相模原市消防出初め式：2019年1月13日
- * 小規模自然災害時の活動要綱見直し：1月11日
- * 相模原市民防災連絡会：1月28日
- * 防災講演会（市社協主催）：1月29日
- * みんないい人富市体験講座講師研修会：3月12日

2019年度前期行事（4月1日～9月30日）

- * 災害ボランティアネットワーク定期総会：4月20日
- * 若葉祭り：5月11日・12日
- * 災害ボランティアコーディネータ養成講座
6月15日・16日（南区保健福祉センター）
- * 防災とボランティアの集い：6月29日
- * 災害ボランティアセンター立上運営訓練：7月6日
- * 相模原市総合防災訓練：9月1日
- * 県立津久井養護学校：防災宿泊学習：9月28日

SSV会員募集！！

相模原災害ボランティアネットワークには何時でも入会できます。

年会費1口1,000円：個人会員1口以上、団体会員3口以上

お問合先：相模原市社会福祉協議会中央ボランティアセンター内

〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20 あじさい会館

TEL042(786)6181：FAX042(786)6182